





東播磨 地区


「敬老の日発祥の町」記念碑

敬老の日は、長年社会に貢献してきたお年寄りに敬意を表し、知恵や人生経験を伝えてもらう目的で制定された。その敬老の精神を伝えている。


青野原俘虜収容所

第一次世界大戦時にドイツとオーストリア=ハンガリーの捕虜（当時の表現では俘虜）を収容するために作られた収容所。最も多い時で 500 名弱の捕虜が収容されていた。




ゆくつち郷土人権資料室

「田仕事」と「農閑余業のワラ製品」をテーマとした生産具や写真パネルの展示から、地域の人々の過去の仕事ぶりや生活ぶり、差別と戦いながらたくましく温かく生きてきた先人たちの人権に関する歩みを学ぶことができる。



鵜野飛行場跡

太平洋戦争が悪化しはじめた頃、優秀なパイロットを養成するため、昭和 18 年に完成した旧日本海軍の飛行場跡である。「紫電改」の実物大模型が展示されている。命の大切さや平和の尊さを学べる。



鴨川ダム

稲作に必要な農業用水の確保は最も重要な課題である。国内においては、水の確保を巡って争いや水神を鎮める目的で人身御供も行われ、各地で悲話が伝えられている。こうした問題を解決すべく大規模なダムが建設され人々の生活を安定させた。

なかよし加古川マダン

「マダン」とは韓国・朝鮮語で広場の意味。韓国・朝鮮の方をはじめ、日本に共に住む同じ住民としての多文化共生づくりをめざしている。

蓮花寺

1859（安政 6）年、被差別身分の一人が殺害された。江戸町奉行は「被差別身分の命の価値は平民の七分の一」と言い放った。そののち、蓮花寺において起こった紛争で首謀者はこれを引用して皆をあおった。当時の身分差別の厳しさが伺える事件であった。

